

MOT/PBX S-V3

USER'S GUIDE

取扱説明書



第 1. 0 版

株式会社バルテック

本書には本装置を正しくご利用いただく為の、接続・設置方法、注意・警告事項が記載されている為、お使いになる前に必ずお読みになり、方法や注意事項を十分ご理解いただいた上でご利用ください。本書は紛失しないように、大切に保管してください。

- ◆ 本書および本製品の一部または全部を無断で転載、複製、改変することはできません。
- ◆ 本書および本製品の内容は、改変・改良・その他の都合により予告無く変更することがあります。
- ◆ 本製品の使用または使用不能に付随、関連して生ずる、直接的または間接的損害（事業利益の損失・事業の中断・記録内容の変化・消失・金銭的な損害など）に関して、当社は一切責任を負いません。
- ◆ 取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ◆ 接続機器との組み合わせによる誤動作から生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ◆ 本書に記載されている会社名、製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

はじめに

本装置は中小・中堅規模（SME）オフィス向けの次世代 IP-PBX です。レガシーPBX との共存から IP-PBX への再構成まで、設置場所を変更することが可能です。1 装置当たり最大 80 台までの SIP 対応 SIP 電話を接続でき、内外線合わせて同時 40 通話を実現できます。

また、スマートフォン用のソフトフォン（MOT/PHONE）を利用する事によって、スマートフォンを内線端末として利用するスマートフォン用アダプタとしての利用も可能です。

更に、外付けの BRI ゲートウェイを介して、ビジネスフォン等の主装置や NTT INS 64 等の公衆回線に接続する事も可能です。

SIP 内線端末への接続

SIP サーバ機能と IP-PBX 機能を搭載しており、最大 80 台の SIP 電話機を管理し、各内線番号のグループ化、不応答・不在転送、留守番電話機能等を提供します。

VoIP 通話を提供

NTT 東日本・NTT 西日本が提供する「フレッツ 光ネクスト」等を利用したひかり電話、FUSION コミュニケーションズが提供する FUSION IP-Phone を外線として直接収容する事が可能です。

既存電話システム（レガシーPBX）一般公衆網（PSTN）との共存構成

外付けの NT/TE ゲートウェイをそれぞれ 5 台まで内外線として収容する事が出来る為、既存の電話システムや、一般公衆網回線との接続を行う事も可能です。

スマートフォン、Windows フォン、ビデオフォンなど多彩な内線電話機との接続を提供

自社製内線ソフト「MOT/Phone」を利用する事により、Android™、iPhone 等のスマートフォン、または WindowsPC を内線電話機として利用する事が可能です。

ファイアウォール機能

外部からの不正アクセスを防止するファイアウォール機能を搭載しております。

柔軟にフィルタリングポリシーを変更することができます。

ブロードバンドルータ機能

ルータ機能を内蔵しておりますので本装置 1 台でインターネット回線へ接続することが可能です。

DHCP サーバ、プロキシ DNS サーバ等を搭載しており、データ回線との併用も本装置 1 台で可能となります。

目次

はじめに.....	2
1章 安全にお使いいただく為に.....	4
表示の意味.....	4
図記号の意味.....	4
免責事項について.....	5
本体の取扱いについて.....	6
設置について.....	8
2章 製品の説明.....	9
梱包品の確認.....	9
本体各部の名称と機能.....	10
機器の接続方法.....	12
3章 端末仕様.....	13
ハードウェア仕様.....	13
ソフトウェア仕様.....	14
IP-PBX 機能仕様.....	15
VoIP 機能仕様.....	17
4章 保障とサポート.....	18
保証書.....	18
保証期間中は.....	18
保証期間が過ぎているときは.....	18
保証の範囲.....	18

1章 安全にお使いいただく為に

製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するための説明をしてあります。

ここに記載している事項は、安全に関わる重要な内容ですので、必ず守って下さい。

表示の意味

本章の説明では、いろいろな絵表示を用いています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

	危険	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が差し迫って想定される内容を示しています。
	警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

図記号の意味






記号	意味	例
	この記号は注意を促す内容があることを告げるものです。	注意（警告を含む） 指をはさまれないように注意
	この記号は行為を禁止する内容であることを告げるものです。	禁止 分解禁止
	この記号は行為を強制する内容であることを告げるものです。	 電源ボタンをOFFにしてから電源プラグをコンセントから抜く





免責事項について

- * 火災・地震・雷・風水害などの天災、および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用によって生じた損害に関して、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- * 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（事業利益の損失・事業の中断・記録内容の変化・消失、通話・録音・通信などの機会を逃したために生じた損害など）に関して、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- * 本製品の使用方法や設定方法を誤って使用した結果発生した通話料金やプロバイダ接続料金などの損失について、当社ではいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- * 接続機器（パソコンなど）との組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- * 本製品の故障、修理、その他取扱いによって、ダウンロードしたデータなどが変化または消失することがありますが、これらデータの修復により生じた損害、逸失利益に関して、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- * 本機は、医療機器、幹線通信機器、原子力設備・機器、航空宇宙機器、輸送設備・機器など、人命にかかわる設備や機器、および高度な信頼性や安全性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、当社製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、当社ではいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- * 取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

本書には本装置を正しくご利用いただく為の、接続・設置方法、注意・警告事項が記載されている為、お使いになる前に必ずお読みになり、方法や注意事項を十分ご理解いただいた上でご利用ください。本書は紛失しないように、大切に保管してください。

本体の取扱いについて

 警 告	
 プラグ	<ul style="list-style-type: none"> ●万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに機器本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が消えるのを確認して、弊社営業所またはサービス部門に修理をご依頼ください。お客様自身による修理は危険ですので絶対におやめください。異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。 ●異物（水・金属片・液体など）が機器本体の内部に入った場合は、ただちに機器本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、弊社営業所またはサービス部門へご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。 ●電源プラグ、およびコンセントの差し込み口にほこりが付着している状態で使用すると、火災の原因となります。
 分解	<ul style="list-style-type: none"> ●この機器のカバー、パネルは絶対に外さないでください。感電の原因となります。内部の点検・修理は弊社営業所またはサービス部門にご依頼ください。 ●本機を勝手に改造しないでください。火災や感電の原因となります。
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●通風孔などの開口部から内部に金属類や燃えやすいもの等の異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。故障・火災・感電の原因となります。 ●本機の上または近くに、花びん・コップ・植木鉢・薬品などの液体が入った容器、金属物を置かないでください。故障・火災・感電の原因となります。 ●本機は、湿気・ほこりの多い場所、通気性の悪い場所、火気のある場所に置かないでください。故障・火災・感電の原因となります。 ●殺虫剤などを使用して害虫駆除を行う場合は、本機の利用を停止し、ビニールなどで保護してから行ってください。 ●本機に水をかけないでください。故障・火災・感電の原因となります。 ●この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧以外の電圧では使用しないでください。また、タコ足配線をしないでください。火災や感電の原因となります。 ●濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。 ●電源ケーブルを傷つけたり、加工しないでください。また、電源コードの上に重いものを載せる・無理に引っ張る・無理に曲げる・ねじる・加熱する・釘やステーブルで固定するなど電源ケーブルを傷め、火災・感電の原因となります。弊社営業所またはサービス部門に交換をご依頼ください。 ●電源コードが傷んだ場合（芯線の露出、断線など）やコンセントの差し込み口がゆるい場合は使用しないでください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。 ●本機の接続、配線工事、修理は、有資格者または、同等の能力をもった技術者が実施してください。誤った接続、配線を行うと故障・火災・感電の原因となります。
 アース	<ul style="list-style-type: none"> ●本機は電源を入れる前に、必ずアース接続を行ってください。アース接続を行わないと、万一漏電した場合に、火災や感電の原因となります。

 注 意	
 注意	他の機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ● 次のような場所に置かないでください。不安定な場所に置くことで、落下や動作不良・火災・感電やけがの原因となることがあります。 ・ 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たる場所 ・ 湿気や埃の多い場所 ・ ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所 ・ 直射日光が当たる場所 ・ 可燃物(木製類・紙類)の傍、接触する場所 ● 本機や電源ケーブルを、火気やストーブなどの熱器具に近づけないでください。 ● 本機の上に重いものを置かないでください。 ● 衝撃を与えないでください。 ● 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。通風孔をふさがないでください。 ● 電源プラグを抜くときは、電源ケーブルを引っ張らず、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源ケーブルを引っ張ると、電源ケーブルの芯線が露出したり断線したりして、火災・感電の原因となります。 ● 落雷の恐れがあるときは、機器本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。雷によって本機が故障し、火災の原因となることがあります。 ● 雷がなっているときは、電源プラグに触れたり、機器の接続をしないでください。感電の原因になることがあります。
 プラグ	<ul style="list-style-type: none"> ● お手入れを行う際には、安全のため必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。 ● 本機を移動する際は、電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、電源ケーブルや機器間の接続コードなど外部の接続コードも外してください。電源ケーブルが傷つき、火災・電源の原因や、装置が落下・倒れるなどしてけがの原因となります。 ● 電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込んでください。火災・故障の原因となります。 ● 長期間本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源を切り電源プラグをコンセントから抜いてください。火災・感電の原因となります。

設置について

本装置は、横置き前提です。

設置の際は以下の点にご注意ください。

- ・ LANのケーブルが届く事
- ・ 電源ケーブルが届く事
- ・ なるべく、ほこりがたまらない場所に設置してください
- ・ ACアダプタを 100V の電源コンセントに接続してください

【横置き】



本装置のスタック（重ね置き）や上部へ物を置く事は熱を持つ原因となりますので行わないでください。



本装置には必ず付属の AC アダプタを使用してください。
アース接続（接地）を確実に行ってください。



通風孔により本体から熱を逃がします。
通風孔の口を塞がないように、且つ空気のコもらない場所に設置してください。
通風孔の口を塞ぐと、故障や事故の原因となります。



稼働中のケーブルの抜き差しは、本装置の故障や誤動作の原因になる場合があります。
電源を切ってから、作業を行ってください。



直射日光が当たる場所や、可燃物(木製類・紙類)の傍、接触する箇所への設置は絶対に行わないでください。

2章 製品の説明

本製品の説明、接続方法について説明します。

梱包品の確認

以下に本製品の梱包物一覧を記載します。

本装置をお使いになる前に同梱品が全て揃っているかをご確認ください。

万一不足や破損しているものがある場合はお買い上げの販売店へご連絡ください。

梱包品一覧	
本体 (MOT/PBX S-V3)	1台
使用上のご注意 (ユーザーマニュアルのご案内、注意事項)	1枚
AC アダプタ	1本
電源ケーブル	1本
保証書	1枚

本体各部の名称と機能

本装置の前面と背面の各ランプ、ポートについての解説をします。

【機器前面】



	名称	詳細
①	電源ボタン	電源ランプ消灯時に押すと、装置を起動します。 電源ランプ点灯時に短押しで、装置を停止します。 ※電源ランプ点灯時に長押しで、装置を強制停止します（通常利用しません）。
②	ストレージランプ	ストレージにアクセスすると赤点滅します。
③	電源ランプ	電源をオンにすると緑点灯します。

※USBポート、SIMカードスロット、AC LOSS は利用しません。

【機器背面】



	名称	詳細
④	LANポート	付属の Ethernet ケーブルを使用し、WAN および LAN と接続します。
⑤	WANポート	
⑥	電源入力	付属の AC アダプタを接続し、本機に給電します。 付属の AC アダプタ以外は使用しないでください。故障の原因となります。

※HDMIポート、COMポート、DPポート、MIC・ヘッドフォンコネクタは利用しません。

⑦ 付属 AC アダプタ



⑧ 付属電源ケーブル

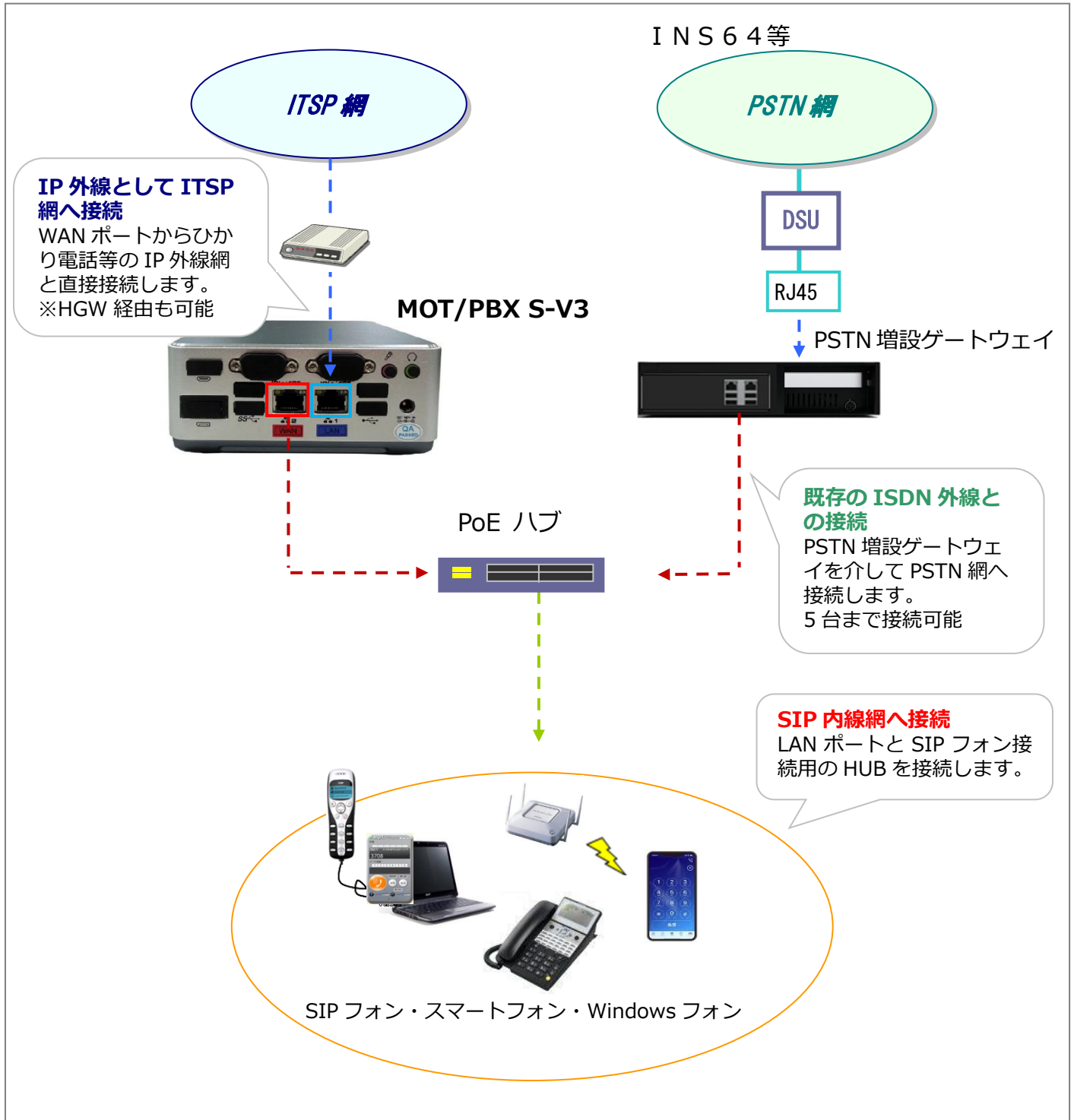


	名称	詳細
⑦	付属 AC アダプタ	⑥と⑧にそれぞれ接続します。
⑧	付属電源ケーブル	⑨の付属 AC アダプタと接続し、AC100V 電源に接続します。

機器の接続方法

MOT/PBX S-V3 を下図のように接続します。

1. LAN ポートと SIP フォン接続用の HUB を接続します。
2. WAN ポートとインターネット終端装置を接続します。
3. ISDN 外線 (PSTN) と接続する場合は外部 PSTN ゲートウェイを経由して接続します。



3章 端末仕様

ハードウェア仕様

【MOT/PBX S-V3】

装置名	商品名	MOT/PBX	
	型式・モデル名	S-V3	
ネットワーク インタフェース	LAN 側	ポート数	1
		規格	10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T
		コネクタ形状	RJ45
	WAN 側	ポート数	1
		規格	10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T
		コネクタ形状	RJ45
	その他	MDI/MDI-X 自動切替、オートネゴシエーション	
準拠規格	IEEE 802.3 準拠		
VCCI 対応	無し		
RoHS 対応	RoHS 対応		
表示機能	LED : 2 個 POWER 表示、ストレージアクセス表示)		
電源	外部 AC アダプタ利用 (PSE 認定)		
入力電源	DC12V		
定格電圧範囲	100 V		
周波数	50Hz~60Hz		
最大消費電力	22W		
動作環境	周囲温度:0℃~40℃ 周囲湿度:10%~90%【結露なきこと】		
本体外形寸法	128mm(W)×128mm (D)×54.2mm(H) ※突起物含まず		
重量	本体重量 : 0.924kg (AC アダプタ含まず) AC アダプタ : 0.42kg (AC コード含む)		

ソフトウェア仕様

<ゲートウェイ部>

データリンク層	PPP	RFC1332, RFC1661 準拠
	PAP	RFC1334 準拠
	CHAP	RFC1994 準拠
	IPCP	RFC1332
	PPPoE	RFC2516 準拠
ネットワーク層	IPv4	RFC791, RFC1812 準拠
	ICMP	RFC792 準拠
	ARP	RFC826 準拠
	IGMP	RFC2236 準拠
トランスポート層	TCP	RFC793 準拠
	UDP	RFC768 準拠
アプリケーション層	DNS	RFC1034, RFC1035 準拠
	DHCP	RFC2131 準拠
	NAT/NAPT	RFC1631, RFC2663 準拠
	HTTP	RFC2068 準拠(HTTP/1.1)
	STUN	RFC3489 準拠
	NTP	RFC1305 準拠

< SIPゲートウェイ・IP-PBX部>

機能	方式
SIP 参照 RFC	RFC3261, RFC3515 (REFER)
SIP Transport Protocol	UDP
Voice Transfer Protocol	RFC1889 (RTP/RTCP)
対応コーデック	G.711 (PCMU)
DTMF 検出	in-band 方式
	RFC2833 (RTP payload Type)方式
保留検出	特番/in-band
	INVITE (sdp/c=IP 0.0.0.0/a=sendonly)
転送検出	特番/in-band
	REFER/NOTIFY

<ルータ部>

ルータ機能		IP フォワーディング
DHCP 機能	サーバ機能	LAN 側へ最高 253 アドレスを提供
	クライアント	WAN 側のアドレスを取得
PPPoE 機能	接続数	2 セッション
	接続	自動接続機能
	IP アドレス	IPCP で IP アドレスの割り付け
uPnP 機能	Internet Gateway Device	提供
	コントロールポイント	未提供
ARP テーブル数		最大 500 個
ルーティング機能		スタティックルーティング
ルーティングテーブル数		最大 100 個
STUN 機能		提供
DNS 機能		Proxy DNS のみ
IP フィルター機能	INPUT: デフォルトで Forwarding を停止 プロトコル, Src Addr, Dst Addr, Src Port, Dst Port で通過を指定可能。	
	OUTPUT: デフォルトで Forwarding を実行 プロトコル, Src Addr, Dst Addr, Src Port, Dst Port で遮断を指定可能。	
	最大 100 ルール	
NAT/NAPT 機能	プロトコル, 対象ポート, 変更アドレス, 変更ポートを設定可能	
	最大 100 ルール	
QoS 機能	VoIP パケットの優先制御	
	自局発 SIP,RTP パケットの TOS 値設定可	
設定機能	設定ツール	WEB ブラウザ (TELNET 不可)
	接続台数	一台
	リモート保守	SSH によるリモートセンターからの設定

IP-PBX 機能仕様

分類	交換機能	機能概要
内線機能	通話保留	通話中の端末を一旦保留状態にする機能
	保留転送	通話中の端末を保留にし、転送先に連絡をして転送を行なう機能

	交互通話	通話中の電話を一旦保留状態にし、保留者は別の通話をし、電話機のボタンにより交互（チェンジオーバー）に通話が可能
	コールピックアップ	複数の内線端末をグループ化し、内線端末への着呼に対し「コールピックアップ」ボタン、またはコールピックアップ特番ダイヤルにてグループ内の他の内線端末が応答できる機能
	グループコールピックアップ	他グループの内線端末への着信をグループピックアップ特番+該当グループ番号ダイヤルにて応答できる機能
	コールハンティング（内線代表）	複数の内線端末をグループ化し、そのグループ代表内線番号に着呼があった場合グループ内の通話中でない内線端末を選んで着信する機能
	不在転送	自分の内線端末への全ての着呼を予め登録した着信先に転送する機能
	話中転送	自分の内線端末が話中の場合、予め登録した着信先に転送する機能
	不応答転送	自分の内線端末への着信時、一定時間応答しない場合、予め登録した着信先に転送する機能
	コールウェイティング	話中に着呼があった場合、内線端末に対し着呼の通知を行い、内線端末のオフフック等で通話を切換する機能
	パーク保留	複数の内線端末をグループ化し、グループ内で保留中の呼を他の内線端末で応答できる機能
	オートアテンダント	特定の端末に着信すると、自動ガイダンスを流し、話したい先の内線端末のダイヤル又は短縮番号の入力を促し、指定された番号の内線端末に電話を掛ける機能
	グループ着信	複数内線端末をグループ化し、そのグループ代表内線番号に着呼があった場合、グループ内の通話中でない内線端末を一斉に呼び出し着信する機能
	端末での転送設定	SIP-PHONE で転送の設定を行える機能
留守番機能(注)	録音	留守番電話ガイダンスを流し、留守番電話メッセージの録音
	再生	留守番電話ガイダンスを流し、留守番電話メッセージの再生、削除、保存
	メール機能	メール転送機能、メール通知機能
ITSP/ PSTN 外線機能	ダイヤルイン	外線から内線端末へ直接着信できる機能
	PSTN 外線発着信	内線から PSTN-Gateway 経由で外線へ発着信する機能
	ITSP 外線発着信	内線端末から ITSP 外線に発着信する機能
	外線着信時の鳴らし分け	PSTN からの着信、ITSP からの着信で鳴らし分けをできる機能
	外線着信時のボタン点灯	外線からの着信時に着番号により該当するボタンを点灯させる機能
設定画面	-	Web ブラウザによる各種設定の変更
端末設定	-	設定画面から SIP 電話機への設定反映、再起動

(注)：内線機能・留守番機能は外線からの着信時にも同様に提供されます。

- MOT/PBX 1 台の登録可能 IP 電話機台数：最大 80 台（最大 80 電話番号）

但し、IP 電話機通話性能は同時最大 40 通話(同一 IP-PBX 管理下内線通話、他 IP-PBX 管理下 IP 電話機との通話、PSTN 通話、インターネット経由通話の合計)を目安としてください。また、ルータ機能を内蔵しておりますが、VoIP 以外のトラフィックが多い場合はルータ機能を分離することを推奨します。

- MOT/PBX は複数台による分散構成をとることが可能です。（最大 5 台まで）

VoIP 機能仕様

SIP 機能	UAC/UAS RFC3261, RFC3264 準拠（一部未対応あり）	
音声送信	RTP/RTCP RFC1889 準拠	
符号化方式	G.711 μ Law	
DTMF	透過、もしくは RFC2833 対応	
エコーキャンセラ	あり	
音量調整機能	送出・受信音量の調節可能	
ポートに登録できる外線番号数	最大 500(最大件数を超えない範囲で)	
一台に登録できる外線番号数	最大 500	
レジスタ出来る外線番号数	最大 250	
局番省略機能	対応	
代表着信	対応	
バージョンアップ方法	自動 手動(ファイル/サーバアクセス)	
複数番号機能	番号ごとの発信	対応
	番号ごとの着信	対応
	スライド着信	端末を跨いだスライドは可能

4章 保障とサポート

故障・診断などのご相談は、販売元へお問い合わせください。

保証書

保証期間：本製品に同梱の保証書をご確認ください。
お買い上げ日、販売店名などの記入をご確認のうえ、大切に保管してください。

保証期間中は

保証書の範囲に従って修理・修復、または故障内容によっては同等製品と交換をさせていただきます。
恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご送付ください。

ただし、保証期間内でも次の場合には有償修理となります。

- ・使用上の誤り、または不当な修理や改造などによる故障・損傷
- ・落下などによる故障・損傷
- ・火災、地震、落雷その他の天災地変などによる故障・損傷

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。
なお、故障内容によっては修理にかえ同等製品と交換をさせていただきます。

保証の範囲

保証の範囲は本製品に限ります。次のような場合は責任を負いかねますのでご了承ください。
本製品の使用によって生じたデータ及びプログラムの消失及び損傷。
本製品の使用によって生じた、いかなる二次的損出やその他の異常。
当社の責任によらない製品の障害または改造による故障。

ご質問・お問い合わせは

本装置に関する技術的なお問い合わせは以下までご連絡ください。

【サポートセンター窓口】

TEL : 0120-863-366

受付時間: 9:00~17:30 (土日・祝日を除く)

MOT/PBX S-V3 取扱説明書

2026年06月01日 第1.0版
株式会社バルテック